

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (北関東)	◎	－	－	－
	○	一般小売店〔土産〕（経営者）	販売量の動き	・3か月前と比べて、若干だが今月の方が販売量は良い。しかし、新型コロナウイルス禍以前の2019年と比較すると、売上達成度は3割前後で推移しており、依然として厳しい。例年、お盆休みに売上のピークを迎えるが、今年は東京オリンピック閉会式前後がピークで、新型コロナウイルス感染拡大や天候にも恵まれなかったため、経験したことのない閑散としたお盆休みとなっている。
	○	コンビニ（経営者）	単価の動き	・来客数は3か月前とほぼ変わらないが、緊急事態宣言の発出等で、客単価が上がって、売上も多少上がってきたので、やや良くなっている。
	○	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・前年と比べて、売上は103%、来客数は93%、単価は110%となっている。前年まではあったお祭りやイベント等は全て中止となり、客注は前年に引き続き、今年もなかった。仕事関係の車は動いている様子で、日中の来客数は前年並みだが、夜は早く帰宅しているようで21時～深夜の来客数は減っている。単価が伸びているため、売上は前年を超えている。
	○	その他飲食〔ファーストフード〕（経営者）	販売量の動き	・飲食のテイクアウト専門店なので、8月の休み期間は、密を嫌い、飲食店に行くよりもテイクアウトを利用して中食をする客が、非常に増えている。
	○	設計事務所（所長）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染対策をしながら行動をしている方が、増えている。
	□	一般小売店〔精肉〕（経営者）	お客様の様子	・今月も同じ報告しかできない。当県はまん延防止等重点措置から緊急事態宣言の対象地域になり、人の動きは余りない。客の話も聞いても、新型コロナウイルスのことばかりで、全く景気の話は出てこない。
	□	一般小売店〔家電〕（経営者）	販売量の動き	・前年に比べると、客単価が下がっている。
	□	スーパー（商品部担当）	お客様の様子	・緊急事態宣言が再発出されると、以前は買上単価等が上昇傾向になったが、今回の緊急事態宣言の発出では大きな変化はなく、前年並みの売上、単価で推移している。
	□	衣料品専門店（統括）	販売量の動き	・例年8月は夏祭り最盛期で、法被等の祭礼用商材が活発に動く時期だが、今年は最悪の状態、例年の90%以下である。
	□	衣料品専門店（販売担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響が出始めてから、1年半が過ぎたが、その頃から何も改善されていないのか、全く環境が良くなっていない。現在の客の動きは常に外出自粛で、次から次へと同じような要請しか出ていないことが今の環境を作ってしまった。改善していかないとどうにもならない。
	□	家電量販店（営業担当）	販売量の動き	・前年好調だったテレワーク商材の販売がカバーできていない。企業規模もあるが、中小企業の動きが悪過ぎる。
	□	乗用車販売店（販売担当）	販売量の動き	・新車、中古車販売は、3か月前と大して変わらない。当社は観光地に立地しているが、当県では大手の安売り旅館グループが休業になったり、大手のリネンクリーニング店が倒産している。景気が上向かず、やっていけないような状況で、当社もそうした環境のなかにいるので、修理部門はそれほど落ち込んではいないが、新車、中古車も含めた販売はやや減少している。
	□	住関連専門店（店長）	それ以外	・緊急事態宣言の発出期間が9月12日までとなり、飲食店を中心に、景気の落ち込みは横ばい状態が続いている。

□	その他飲食〔給食・レストラン〕（総務）	販売量の動き	・緊急事態宣言の発出後も、事業所給食は提供食数等にこれまでと大きな変化はみられない。デリバリー部門もイベントや会議後に飲食提供のない状況が続いており、特段変化はない。レストラン部門は緊急事態宣言の再発出もあり、更に利用が落ち込んでいる。総じてやや悪い状況が続いている。
□	都市型ホテル（支配人）	来客数の動き	・緊急事態宣言の発出もあり、夏のイベントが全て中止のため、観光シーズンとしては低迷している。競技大会や試験等の実施や自粛疲れの方の動き、ビジネス客の宿泊もあり、稼働率は上がってきている。一方で、会合等は9月まではほぼキャンセルとなっている。10月以降の予約受注はできたものの、夜の会食等はほぼ皆無である。
□	都市型ホテル（総支配人）	来客数の動き	・緊急事態宣言の発出により、予定されていたスポーツ大会等が中止や延期となってしまっている。首都圏からのビジネス客の利用も一層減少し、レストランなどは、もはや営業することで赤字が膨らんでしまう状況になっている。
□	タクシー（経営者）	お客様の様子	・夜の動きは良くないが、暑さのため、昼の動きが前年同月比30%の増収である。ただし、2年前の同月と比べると34%の減少である。
□	通信会社（局長）	販売量の動き	・来客数は3か月前と比べて2割減となっており、客の購買意欲も鈍化している。
□	競輪場（職員）	来客数の動き	・東京オリンピックも終了し、来場者数が少し上向きになってきたと感じたところで緊急事態宣言が再発出され、無観客での開催になってしまっている。今後、有観客の再開時に、客足への影響が不透明である。
□	設計事務所（所長）	お客様の様子	・緊急事態宣言の発出により、飲食や旅客関連業はダメージを受けている。それに伴い、その他の業種も伸び悩んでいるように思われる。
▲	百貨店（営業担当）	来客数の動き	・連日の新型コロナウイルス感染者数の最多更新や、当県では、まん延防止等重点措置から緊急事態宣言対象地域への移行が決まり、来客数が減少している。
▲	百貨店（営業担当）	来客数の動き	・当県では、まん延防止等重点措置から緊急事態宣言の発出へより強い宣言に切り替わり、以前から来客数減に悩まされてきたが、更に悪化している。食品は比較的堅調だが、衣料品やリビング関連は、極端な不振につながっている。
▲	百貨店（営業担当）	来客数の動き	・東京オリンピック後、県内の新型コロナウイルス感染者数増加や緊急事態宣言対象地域への追加等の影響があり、8月3週目以降は、来客数が前年比80%台前半の推移となっている。60歳以下の世代のワクチン接種状況の進捗がかんばしくないことも、要因として挙げられる。
▲	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・8月は台風等が来たことで気温も低く、来客数が大きく減っている。冷たい麺、ソフトドリンク、アイスクリーム等も、かなり減少している。
▲	コンビニ（店長）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大により、学校は休みで会社も半分の出勤になっているため、人の流れが悪くなっている。
▲	家電量販店（店長）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染者数が増えてきた影響と思われる。
▲	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響なのか、6月後半から新車、中古車の販売が落ち込んでいる。また、修理等整備部門の売上も前年比で12%くらいのダウンである。
▲	乗用車販売店（販売担当）	来客数の動き	・自動車販売店だが、サービス、修理共に、来客数がめっきり減っている。緊急事態宣言の再発出に伴い、来客数が少なくなっており、展示会を行っても客が来ない。
▲	乗用車販売店（統括）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大が続き、収束しないため、やや悪くなっている。
▲	自動車備品販売店（経営者）	競争相手の様子	・人流が少なく、来客数が減っていることや、物を買う意欲が低下しているため、販売量が思うようにならない。

▲	住関連専門店 (仕入担当)	販売量の動き	・来客数、販売数共に、マイナス傾向である。新型コロナウイルス禍が長期化し、巣籠り需要も停滞している。かといって、他の個人消費に向かうわけでもなく、消費傾向はとらえどころがない。天候の変動幅も大きく、秋の大型連休も、不安要素の方が多い。
▲	その他専門店 [燃料] (従業員)	販売量の動き	・受注が減少しており、前年比でも大きく減少している。
▲	通信会社 (営業担当)	来客数の動き	・緊急事態宣言の発出や天候不良の影響から、来客数が減少傾向にある。
▲	通信会社 (総務担当)	来客数の動き	・緊急事態宣言が発出されて、外出にブレーキが掛かっている。新型コロナウイルスのワクチンを2回接種完了した高齢者世代は、前年よりは不安なく来店している。子供連れでの来店は、目に見えて減っている。
▲	美容室 (経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルスという巨大な敵に対し、勝つための努力をせずに突き進むだけの思考停止した上層部に危機感がないことが、最大の危機である。
▲	その他サービス [自動車整備業] (経営者)	お客様の様子	・当県も緊急事態宣言が再発出され、車検では、予定外の出費を考慮して、最小限の整備や車検が通れば良い範囲で、といった注文をする客が急増している。新型コロナウイルスが終息しない限り、当分見通しは立たない。
▲	住宅販売会社 (経営者)	お客様の様子	・やっと少し前向きになって、飲食店の出店問合せが多少増えつつあるところだったが、再度の緊急事態宣言の発出により、全て、延期やキャンセルとなってしまっている。緊急事態宣言が発出された影響で、夜のスナック関係もかなり悪い状況である。不動産の動きも、現在は止まっている。
×	商店街 (代表者)	来客数の動き	・緊急事態宣言の発出後、人の回遊が極端に減少している。商店も休業状態で、売上は全くない。経費だけは出ていくので、営業を続けられない店が多く見受けられるようになってきている。
×	一般小売店 [青果] (店長)	販売量の動き	・緊急事態宣言の発出で、取引先の飲食店、居酒屋等はほぼ休んでいる。それ以外の営業している式場、ホテル等の仕入れも軒並みマイナスとなっている。
×	百貨店 (店長)	来客数の動き	・当県に緊急事態宣言が発出された後、来店客数が大幅に減少している。まん延防止等重点措置適用時とは違い、マイナスの影響が非常に大きい。
×	衣料品専門店 (店長)	来客数の動き	・緊急事態宣言の発出後は、急激に来客数が減っている。
×	家電量販店 (店員)	販売量の動き	・今月も前月に続きトレンドは下降傾向で、前年比で72%、前月比74%と振るわない。伸びない商材は、エアコンが最悪で前年比40%、冷蔵庫、洗濯機が前年比60%程度になっている。
×	その他専門店 [靴小売業] (経営者)	販売量の動き	・8月の店頭販売は前年2～3月のように、新型コロナウイルスの影響で、地方ほど買い控えや、家に籠もりがちで、厳しい。今後も現状が続くそうである。前年より来客数が20%以上減っている。また、ナショナルブランドの生産地の状況が悪く、商材の入荷が遅れている。
×	一般レストラン [居酒屋] (経営者)	それ以外	・まん延防止等重点措置から緊急事態宣言発出への切替えに伴い、景気動向とは関連付けられない先の見えない現状である。
×	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・緊急事態宣言が再発出されたものの、新型コロナウイルス感染者数が減ってこないなか、来客数は激減している。また、テイクアウト需要も伸びていない。
×	一般レストラン [居酒屋] (経営者)	来客数の動き	・県独自の緊急事態宣言や国からのまん延防止等重点措置、その後の緊急事態宣言対象地域への追加等、立て続けの発出で、ほぼ休業せざるを得ない状況である。テイクアウトも行っているものの、元々、酒と料理の店なので、売上が大幅に減少している。
×	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・3か月前と比べて、来客数は2割減で、客の購買意欲も鈍化している。市内の複数の場所で新型コロナウイルスの感染クラスターが起き、当店だけではなく、他の店も来客が減っているようである。

	×	観光型ホテル (経営者)	来客数の動き	・国内各地で、緊急事態宣言が発出されており、旅行需要が完全に止められている。8月後半から9月全日にかけて、信じられない数のキャンセルがあったことから、旅行業界に対しては、緊急事態宣言の発出による人流抑制効果は成功したのではないかと。旅館やホテルに対する保証が薄いので、これから多くの事業者が廃業するのではないかと。
	×	旅行代理店(経営者)	販売量の動き	・緊急事態宣言の再発出により、8月出発予定客の8割がキャンセルになっている。
	×	旅行代理店(所長)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染爆発により、首都圏に加えて当県にも緊急事態宣言が再発出されてしまい、厳しい状態に陥っている。
	×	旅行代理店(従業員)	お客様の様子	・緊急事態宣言下となり、案件中止が続発し、悪くなっている。
	×	タクシー運転手	お客様の様子	・再び緊急事態宣言が発出され、ますます利用客が減少している。他地区の調査結果をみていると、当地区だけ利用客が少なくなっているようだが、地方の田舎では、深夜2時まで営業していても、午後10時から1回も稼働できないときもあり、ひどい状況である。田舎は正直で、20時過ぎると商店街も真っ暗である。
	×	タクシー(役員)	それ以外	・国の新型コロナウイルス対策はどうしようもない。
	×	通信会社(経営者)	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響は、国内至るところで深刻である。地方に仕事がないので、首都圏中心に動いていたが、既にその流れさえ厳しさを増している。
	×	テーマパーク(職員)	来客数の動き	・緊急事態宣言の対象拡大で当県も対象地域になったことから、来園者が大幅に減少している。
	×	ゴルフ練習場(経営者)	来客数の動き	・緊急事態宣言が発出されてから、車の交通量や歩行者の通行量が約50%に減っている。
企業 動向 関連 (北関東)	◎	—	—	—
	○	輸送用機械器具 製造業(経営者)	取引先の様子	・取引先の受注や販売量が、大分増えてきている。
	○	不動産業(管理 担当)	受注量や販売量 の動き	・新型コロナウイルスの感染状況は悪化しているが、以前なら取りやめや延期になったはずの作業等が、感染対策の手間はあるものの、以前と同頻度で実施できることが増えている。
	□	化学工業(経営者)	受注量や販売量 の動き	・稼働日数の関係か、予想出荷量に達しなかったが、悪くなったとは思っていない。この状況がしばらく続く。
	□	窯業・土石製品 製造業(総務担 当)	受注量や販売量 の動き	・新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言の発出による影響が、出てくるのではないかと心配である。
	□	金属製品製造業 (経営者)	取引先の様子	・前々年の売上との比較では8月は55%、9月は70~80%で推移している。
	□	電気機械器具製 造業(経営者)	受注量や販売量 の動き	・自社分の部品調達をしているが、全ての部材が入らない。7~8種類の違う物、電線、端子、コネクタ、副資材等を買っているが、注文してから入るのが3~6か月後となっている。あと2か月くらいで生産が止まる可能性があり、状況としてはかなり厳しい。
	□	輸送用機械器具 製造業(経営者)	受注量や販売量 の動き	・半導体不足解消の見通しが立っておらず、自動車の減産が続いている。また、新型コロナウイルスの影響による東南アジアのロックダウンにより、一層の半導体不足が懸念される。
	□	輸送業(営業担 当)	取引先の様子	・東京オリンピック・パラリンピックにより、大型テレビ等の物量が増え、また、猛暑により、エアコン、サーキュレーター、扇風機等の物量も予定どおりの量を確保している。しかし、通販向けの物量が15%ほど落ち込み、例年並みの物量は確保できたものの、前年比で見ると全体的には10%ダウンである。
	□	司法書士	受注量や販売量 の動き	・私どもの仕事は、景気に余り左右されない基本的な部分があるので、ほとんど変わらない。

	▲	一般機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・新型コロナウイルス禍で、国内の自動車組立てラインが操業停止となることから、急ぎよ、当社からの納入にストップがかかり、今月見込んでいた売上が大きく落ち込んでいる。
	▲	広告代理店（営業担当）	取引先の様子	・ホテルの婚礼、宴会等がなくなっていて、非常に厳しい状況である。飲食店も同様で、店が継続できるかどうか分からない。
	▲	社会保険労務士	取引先の様子	・新型コロナウイルスのワクチン接種は進んでいるが、自粛ムードは強く、飲食、宿泊業は特に厳しい。
	▲	その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	取引先の様子	・緊急事態宣言が発出されたの影響もあり、先行きに対する投資マインドが落ちてきている。
	×	建設業（開発担当）	受注量や販売量の動き	・公共工事主体で売上の95%を占める建設業を営んでいる。前政権誕生後、公共工事は順調に推移し、現政権でも順調である。今期は4月スタートから3か月経過しているが、公共工事は前年比13%減で大変である。当社の受注も前年比10%減と厳しいスタートになっている。新型コロナウイルス禍のなかで、現状を受け入れなければならない。今後も受注に向けて、前向きに考えていきたい。
	×	経営コンサルタント	取引先の様子	・相次ぐ緊急事態宣言期間の延長による飲食店等の営業自粛、営業時間短縮等のため、飲食店及び直接的、間接的に取引のある食品や食材関連、更にそれらと取引のある運輸、倉庫等の物流関連業種まで、経営の継続が非常に困難になっている。そのため、地域の経済活動も委縮している。
雇用 関連 (北関東)	◎	—	—	—
	○	—	—	—
	□	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・医療、看護師などの看護関係人材、介護関係の自治体等の募集が目立っている。建築関連もぼちぼち目立ってきている。改装、塗装関係が一部で目立っている。生産工場は、一進一退なのか、ラインの組み換え等もあって、従業員の不足、又は人員カットがあったようである。衣料品、食料品関連は底堅く、伸びているように見受けられる。
	□	職業安定所（職員）	求人数の動き	・化学薬品、包装材料等の販売専門商社からは、売上が好調との話を聞いている。一方で、発動機関係部品加工や建設用ボルトの製造、部品加工等の事業所からは、新型コロナウイルスの感染拡大の影響等で、9月以降は作業量が減少する等の話もあるため、変わらない。
	□	学校〔専門学校〕（副校長）	それ以外	・新型コロナウイルスの感染拡大による緊急事態宣言が当県にも発出され、経済活動への影響がみられる。また、学生等の活動も制限され、活動範囲が狭まったことも影響している。
	▲	人材派遣会社（管理担当）	採用者数の動き	・新型コロナウイルスの影響で工場閉鎖となり、自動車関連と食品関係の製造が減少しているため、やや悪くなっている。
	▲	職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・緊急事態宣言の再発出により、新規に休業を実施した飲食店から、雇用調整助成金の相談が増加している。飲食店関連の事業所にも影響が出ている。
	×	*	*	*